

## 今年度の各WGの活動方針について

### 運用・証券・投資銀行業務WG

時期	開催イメージ
9月頃	第1回WG
11～12月頃	第2回WG
3月6日	第3回WG (総会:意見交換会)

H30年度もESG投資分野をテーマの中心に据える方向

#### 【活動方針】

- ESG投資に関連する署名機関の実力と実践に向けた対応を進めるべく、大筋以下の流れで活動に取り組む方針。年度を通じたテーマは「投資家と企業の長期的視点」。

#### <第1回WG>

企業側の情報開示、特に長期ビジョンを投資家へ伝えることで、長期投資家における「企業理解」を深める(プレゼンター、コメンテーター等による意見交換会形式を想定)。

#### <第2回WG>

長期投資家側のESG投資(特にSDGs、TCFD、HLEG)の取組、視点、事情等を企業へ伝えることで、企業における「投資家理解」を深める(形式は同上)。

#### <第3回WG>

上記2回のWGの成果等を踏まえ、プログラムの中身を固める(総会においての意見交換会を想定)。

## 保険業務WG

時期	開催イメージ
6月19日	第1回WG 気候変動と保険業界： 日本の保険業界はど う対応すべきか
9月以降	第2回WG (未定)

### 【活動方針】

- 費用面も考え、会場手配は保険業務WG所属金融機関で対応するよう心掛ける。
- WGは2回の実施を想定。

#### <第1回WG>

脱炭素の流れにどう日本の保険会社に対応すべきかを考える  
ジュネーブ協会が発表したレポート「気候変動と保険業界：リスクマネージャーと投資家の行動」も参考にしながら、情報提供と意見交換。  
(保険業務WG所属機関、保険関連のアセマネ等限定)

#### <第2回WG>

今後の世界の動向等も見据え、テーマは検討。

## 預金・貸出・リース業務WG

時期	開催イメージ
7～8月頃	第1回WG (東京開催)
10～11月頃	第2回WG (地方開催)
3月6日	第3回WG (総会：意見交換会)

### 【活動方針案】

- 東京開催WG1回と地方開催WG1回に加え、総会における意見交換会でのWG、計3回想定。
- 環境省のESG金融懇談会(6月)での議論を踏まえたプログラム構成を検討する。

#### <第1回WG>

UNEP FIが4月にTCFDに関する銀行業界向けのガイドを公表したことを受け、海外のベストプラクティスなどを取り上げ、ガイドを元にシナリオ分析の手法などについての情報提供。

#### <第2回WG(地方開催)>

ESGの"E"にフォーカス、事業性評価等、実際に取り組み、地方創生と環境の面において成果を上げている地域金融機関をホスト行として開催。

#### <第3回WG>

上記2回のWGや昨年度の総会での意見交換会の成果を踏まえ、プログラムの中身を固める(総会における意見交換会を想定)。

## 環境不動産WG

時期	開催イメージ
9月頃	第1回WG (地域の街づくり①)
11月以降	第2回WG (地域の街づくり②)

※1 RPA: ロボティック・プロセス・オートメーション

※2 DMO: Destination Management Organization / 地域にある観光資源に精通し、地域と協同して観光地域作りを行う法人

### 【活動方針案】

- ・ 持続可能な街づくりを、地域での金融機関にも参加いただき、産・官・金の連携を視野に入れたシンポジウム等の開催。
- ・ SDGs目標11「持続可能な都市とコミュニティ」も考慮しテーマ設定
- ・ テーマによっては、預金・貸出・リース業務、持続可能な地域支援WGなどの連携も。

### <第1回WG>

- ・ 産・官・金での街づくりをテーマに。SDGsをカタチにする方法1。(リアルタイムデータ検証が変える、健康経営、ビル経営、都市経営)
- ・ SDGs未来都市に選定された都市
- ・ 地方開催も検討中。

### <第2回WG>

- ・ 産・官・金での街づくりをテーマに。SDGsをカタチにする方法2。(街づくり会社、面的エネルギーマネジメントRPA※1、超高齢化社会のモビリティ、DMO※2等)

## 持続可能な地域支援WG

時期	開催イメージ
4月19日	第1回WG テーマ:自然資本 (自然プロトコル 金融補 足書 / 署名機関限定)
6月5日	第2回WG テーマ:SDGs (各論)
9月以降	第3回WG~ テーマ:未定 (第1回・第2回を踏まえて検討)

### 【活動方針案】

- ・ 環境に軸足をおきつつ、持続可能な地域社会・地方創生の実現に向けて金融機関等の果たすべき役割について焦点を当てる。
- ・ 以下2テーマでのWGを含め全3回のWG開催検討。(テーマ案)
  - ・ 「自然資本」:「自然資本」からESG(特に“E”)の理解を深め、ビジネスリスクや機会を議論するWGをH28に開催。引き続き、ESG情報開示に必須となる概念として、活用における金融機関の関わり方について。
  - ・ 「SDGs」:地域内での企業や市民等との会話のツールとしての「SDGs」に注目。H29WGは総論。今年度は各論。

### 【開催のポイント】

- ◆第1回WG:自然資本プロトコル完成に貢献したMark Gough氏の来日を活用。地域企業のESG情報開示や経営への反映を踏まえた、金融機関の関わり。
- ◆第2回WG:SDGs取組の具体例(SDGs.TVの Video Library等)を用いた議論。
- ◆その他:認知症問題対応等も含め、上記WG実施後に調整(第3回WG以降、1~2回程度を想定)。